

# いばらきダイバーシティ宣言企業アンケート結果

## 調査目的

本調査は、いばらきダイバーシティ宣言事業の開始以降、宣言企業数が500社に達したことを一つの節目とし、これまでの取組状況や宣言企業の意識・実態を把握することを目的として実施しました。

あわせて、宣言後の変化や成果、課題、県の支援施策に対するニーズ等を把握することで、事業の効果や課題を整理し、今後の施策の改善およびより実効性の高い事業運営につなげることを目的としています。

## 結果の概要

○宣言を知ったきっかけは、県内企業では「県からの案内」、県外企業では「ホームページ」が多く、特に県内では県からの直接的な情報発信が重要な役割を果たしています。

○多くの企業が、企業イメージの向上とともに、職場環境の改善や社員の意識向上を期待して宣言を行っています。

○一方で、「大きな変化は感じていない」と答えた企業が約半数を占め、成果を実感できていない企業も多い状況です。「取組の成果を測定できていない」という回答の割合が最も多く、成果を定量的に測る方法を求めている企業が多いことが推察されます。

○他社の取組事例や分かりやすい情報を求める声が多く、広報については、県公式媒体での紹介が重要視されていることが伺えます。

○スコアチャレンジやデジタルバッジについても、関心はあるものの内容や活用方法について、具体的に何ができるのか、どのように活用できるのかの内容理解が十分でない企業が多い傾向が伺えます。

調査期間 令和7年10月27日（月）～令和7年11月28日（金）

アンケート 送付数 / 回答数

478件 / 101件（うち県内68、県外33）（※） 回答率 21%

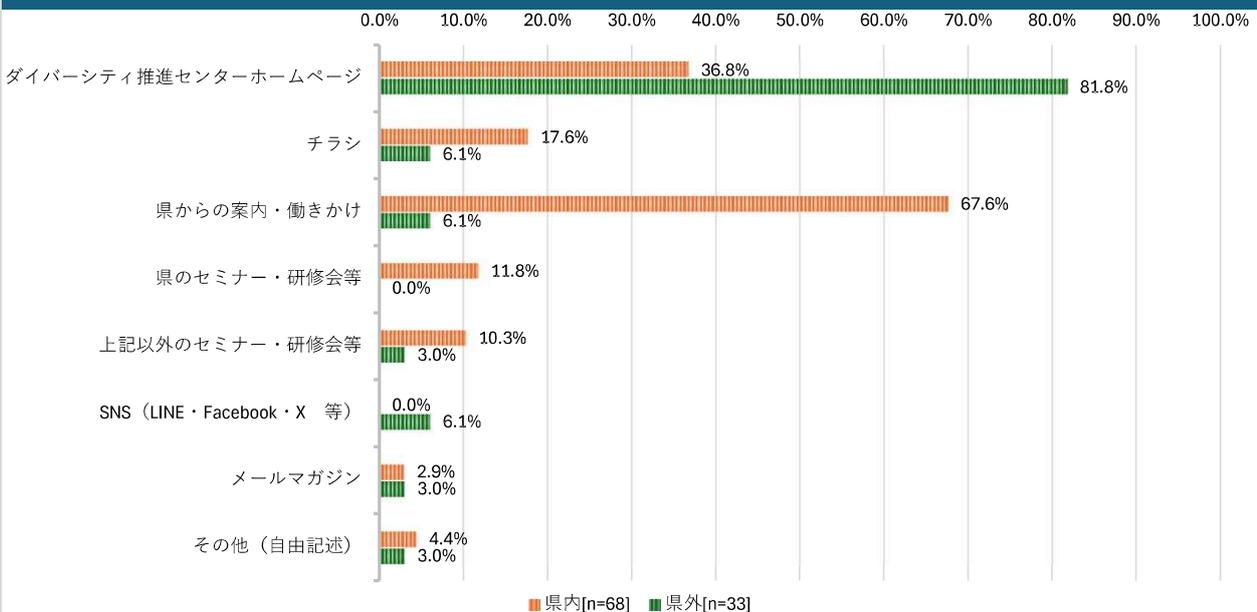
（※）いばらきダイバーシティ宣言申込時に登録した住所により区分

設問 ※複数選択の設問については、回答企業数を母数として割合を算出しています。

そのため、各項目の割合の合計は100%になりません。

## 1. 宣言の動機

### 1-1. いばらきダイバーシティ宣言をどこで知りましたか？（複数選択可）



○宣言を知ったきっかけとして、県内企業では「県からの案内」、県外企業では「ホームページ」の割合が高く、特に県内では県からの直接的な情報発信が重要な役割を果たしています。

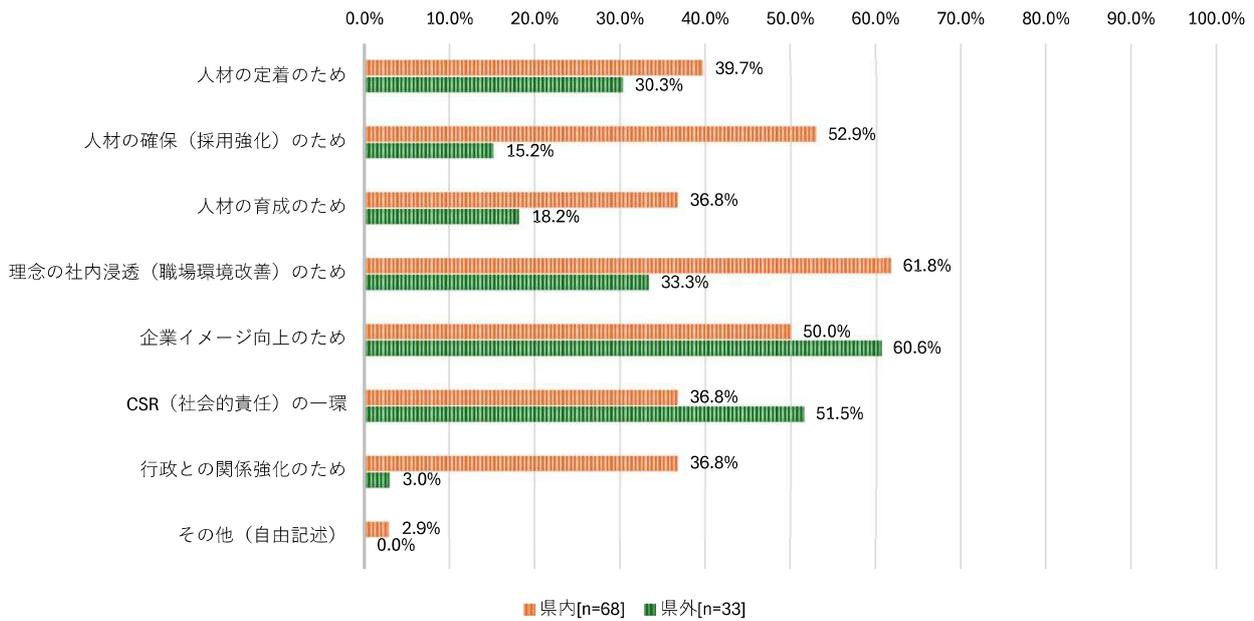
○その他（自由記述）

・市町村からの紹介

・知人からの紹介

等4件

1-2. いばらきダイバーシティ宣言を行おうと思った理由を教えてください（複数選択可）



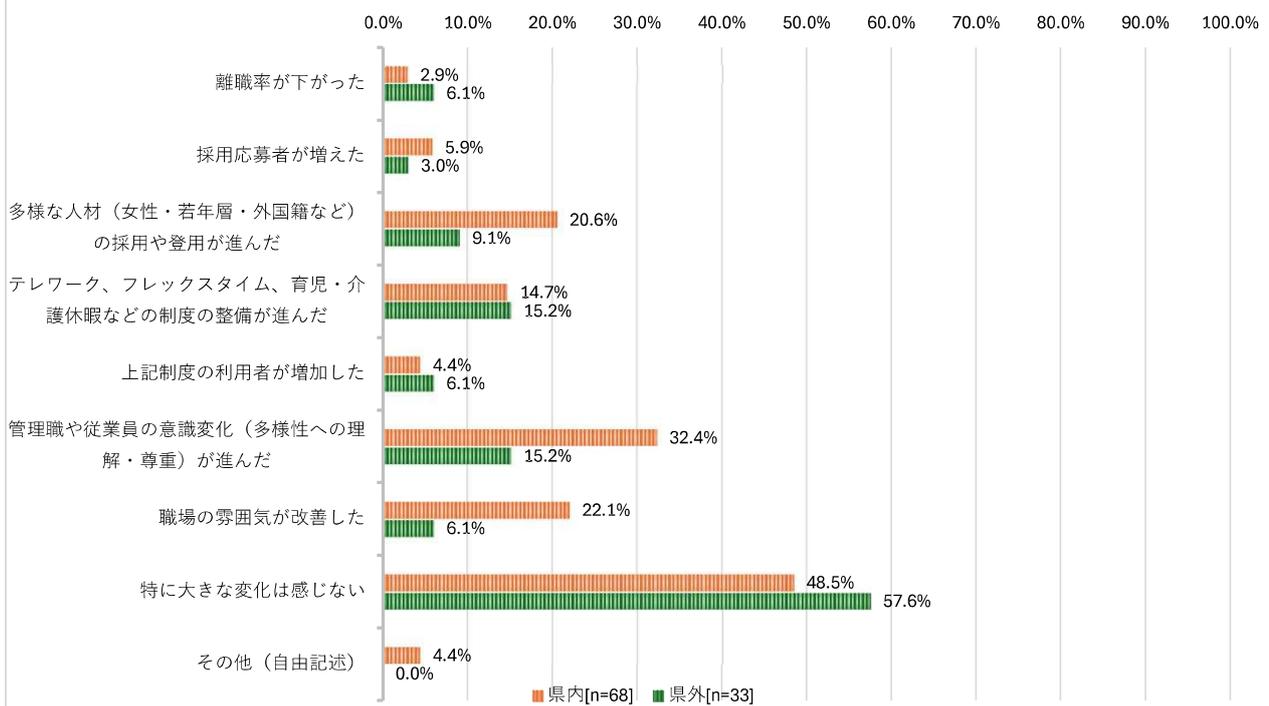
○多くの企業が、企業イメージの向上と同時に、職場環境の改善や社員の意識向上を期待して宣言を行っています。県内企業は社内の変化を、県外企業は対外的な評価を重視する傾向があります。

○その他（自由記述）

- ・外国ルーツの方を受け入れたため
- ・人材不足解決のための取り組みが多様性の推進につながっていると気づいたため

## 2. 宣言後の変化について

### 2-1. 宣言後、社内にどのような変化がありましたか？（複数選択可）



○「大きな変化は感じていない」と答えた企業が約半数にのぼる一方で、社員の意識や職場の雰囲気が良くなったと感じている企業もあります。

#### ○その他（自由記述）

- ・社内の理解が進んだ
- ・宣言直後のため不明
- ・宣言前から取り組みを進めている

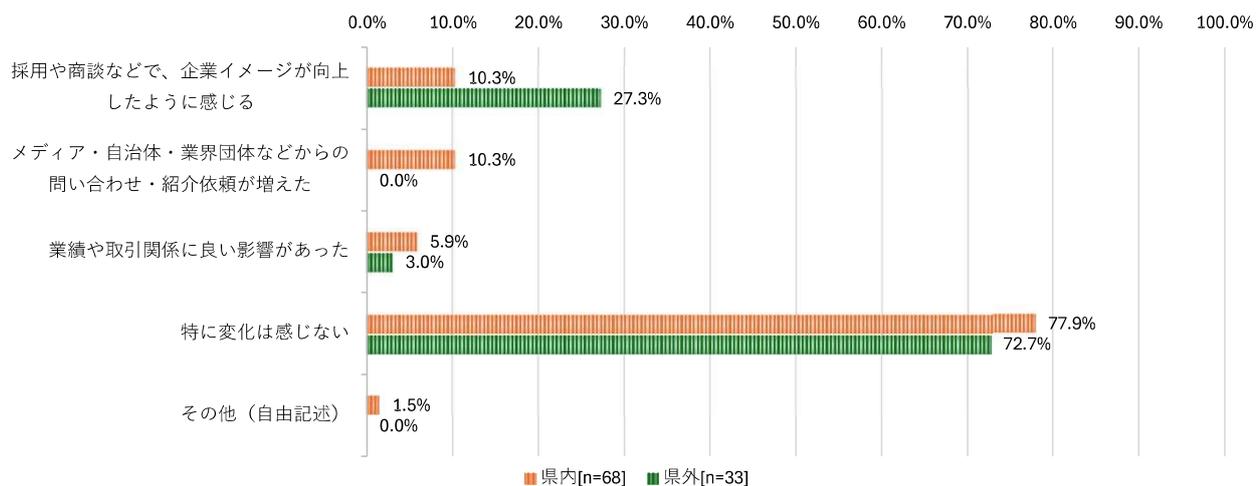
### 2-2. 上記のうち、具体的な変化や成果を教えてください。（任意）

#### 自由記述

- ・社内環境の向上
- ・離職率の減
- ・講習の実施
- ・女性管理職の登用が進んだ
- ・採用活動の改善
- ・育休所得率の増
- ・D & I 検定受検

等 1 4 件

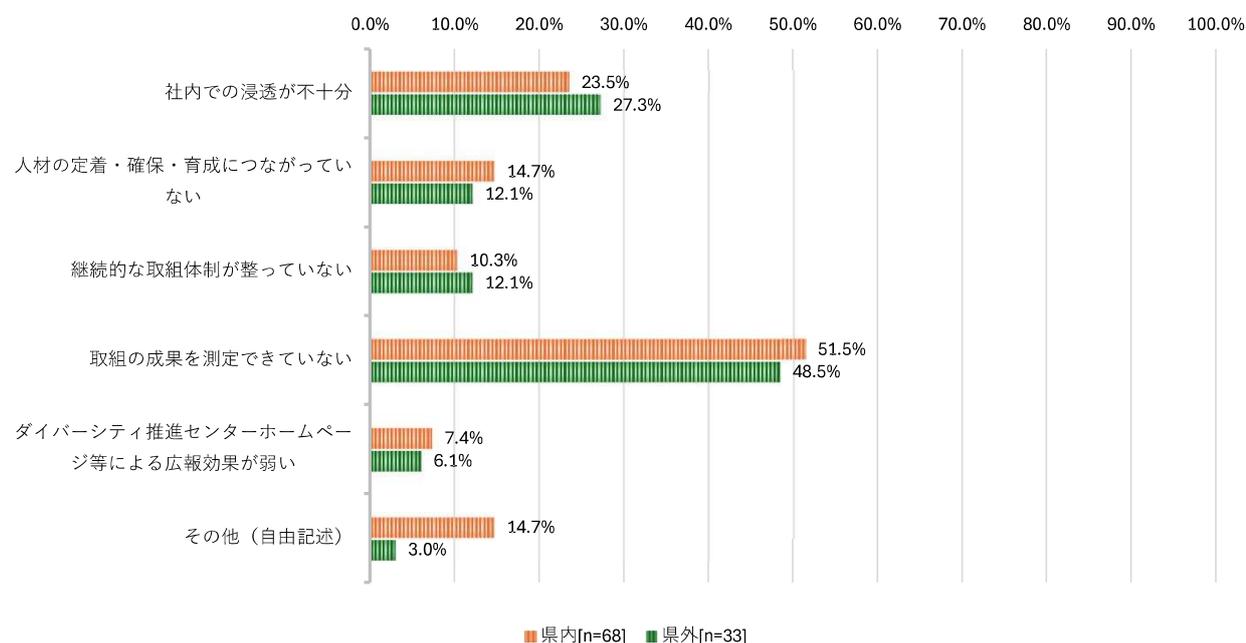
### 2-3. 宣言後、社外から反響などはありましたか？（複数選択可）



○「特に変化は感じない」が県内外ともに最も高い割合となっており、採用や取引など、社外での目に見える成果を実感している企業は少数にとどまっています。

- その他（自由記述）
- ・宣言直後のため不明

### 2-4. 宣言後に感じている課題があれば教えてください（複数選択可）



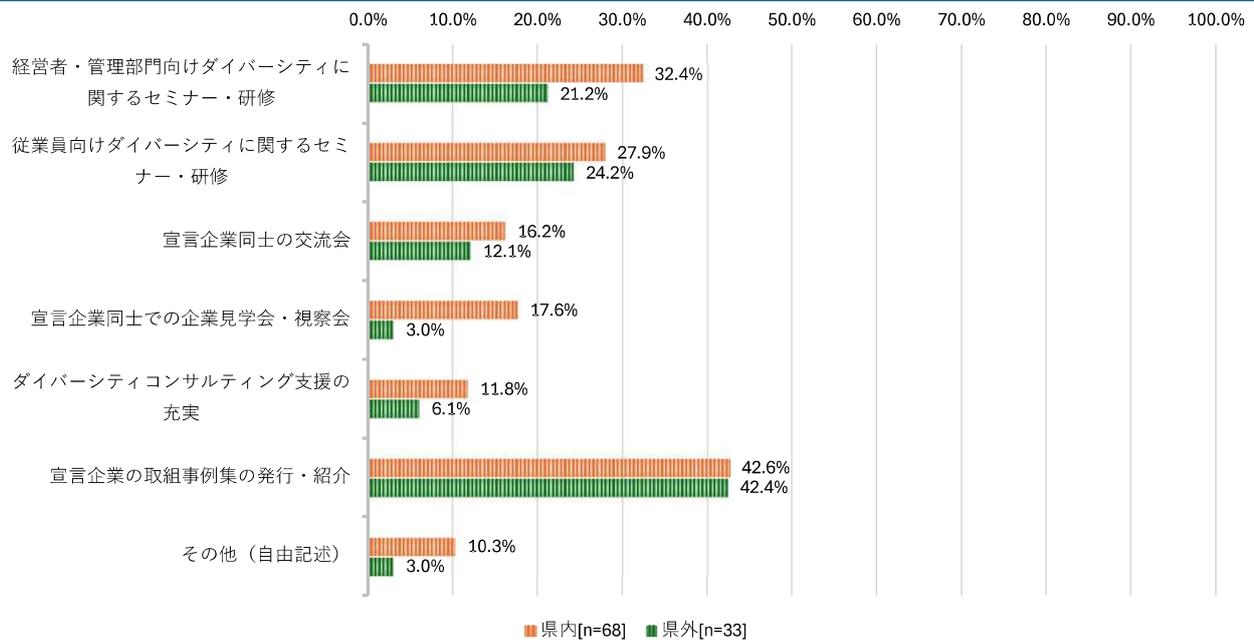
○「取組の成果を測定できていない」という回答の割合が最も多く、成果を定量的に測る方法を求めている企業が多いことが推察されます。

- その他（自由記述）
- ・CSR活動の優先度が低い
  - ・いばらきダイバーシティスコアのチェック数が少ない
  - ・法人のアピール力が足りない

等 1 1 件

### 3. 県からの支援について

#### 3-1. 宣言後、県からどのような支援があればよいと思いますか？（複数選択可）



○「取組事例集の発行・紹介」の割合が最も高く、次いで、「ダイバーシティに関するセミナー・研修」となり、他社の取組事例やダイバーシティに関する知識を求める声が多く寄せられました。

○その他（自由記述）

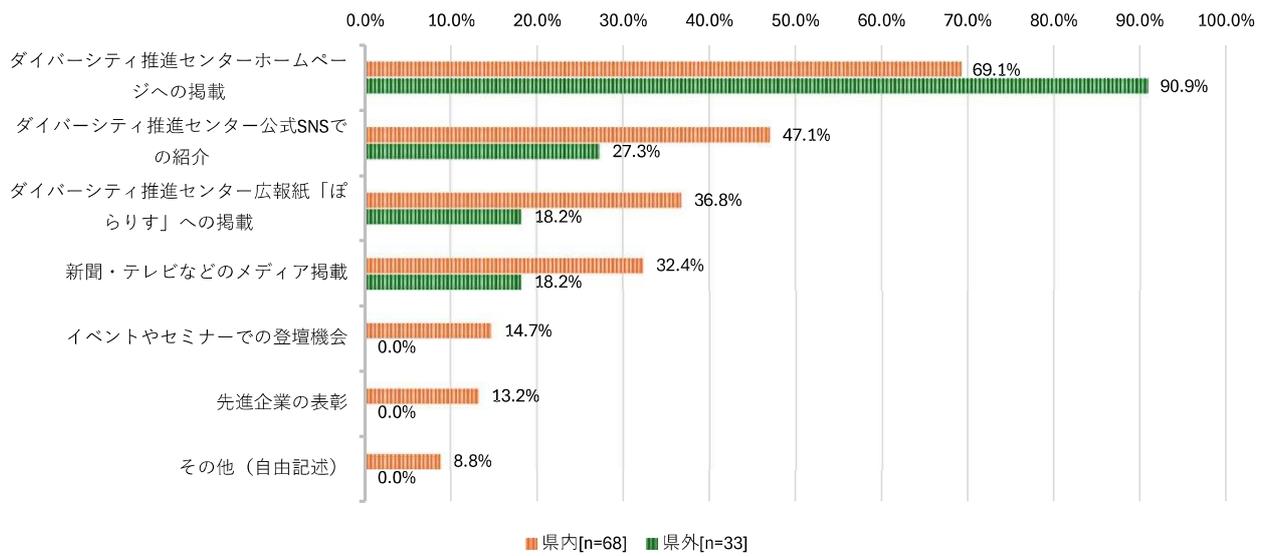
- ・広報の強化
- ・ダイバーシティについての啓発
- ・同規模、似た業種との交流会
- ・D&I検定2級や1級の県内企業向け受検推奨 等 8 件

#### 3-2. 3-1の選択肢を選んだ理由を教えてください。（自由記述）

- ・経営者・管理部門向けダイバーシティに関するセミナー・研修  
⇒意識改革（16）、広報拡大・イメージアップ（6）、採用強化・人材定着（6）、情報収集（5）
- ・従業員向けダイバーシティに関するセミナー・研修  
⇒意識改革（21）、広報拡大・イメージアップ（4）、採用強化・人材定着（3）
- ・宣言企業同士の交流会  
⇒企業交流（8）、情報収集（4）、意識改革（4）
- ・宣言企業同士での企業見学会・視察会  
⇒企業交流（6）、情報収集（4）
- ・ダイバーシティコンサルティング支援の充実  
⇒情報収集（3）、広報拡大・イメージアップ（3）
- ・宣言企業の取組事例集の発行・紹介  
⇒情報収集（21）、意識改革（11）、広報拡大・イメージアップ（8）、採用強化・人材定着（4）

#### 4. 広報に関するご意見

##### 4-1. 宣言企業として紹介される場合、どのような広報を期待しますか？（複数選択可）



○「ダイバーシティ推進センターホームページへの掲載」の割合が最も高く、次に「公式SNSでの紹介」、「センター広報紙への掲載」が続いていることから、県公式媒体での紹介が重要視されていることが伺えます。

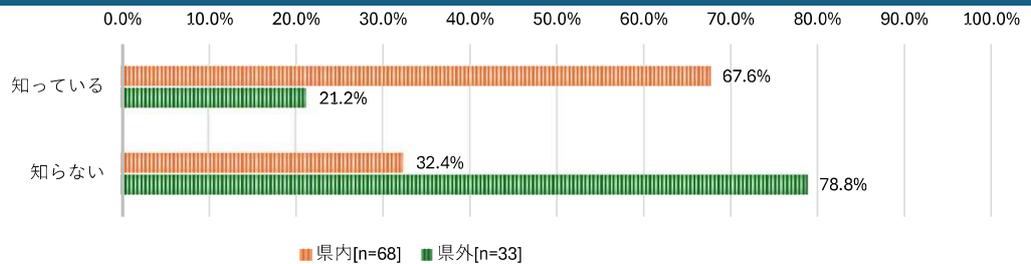
○その他（自由記述）

- ・求職者向けの広報
- ・優良企業の広報
- ・ダイバーシティについての周知・啓発

等 6 件

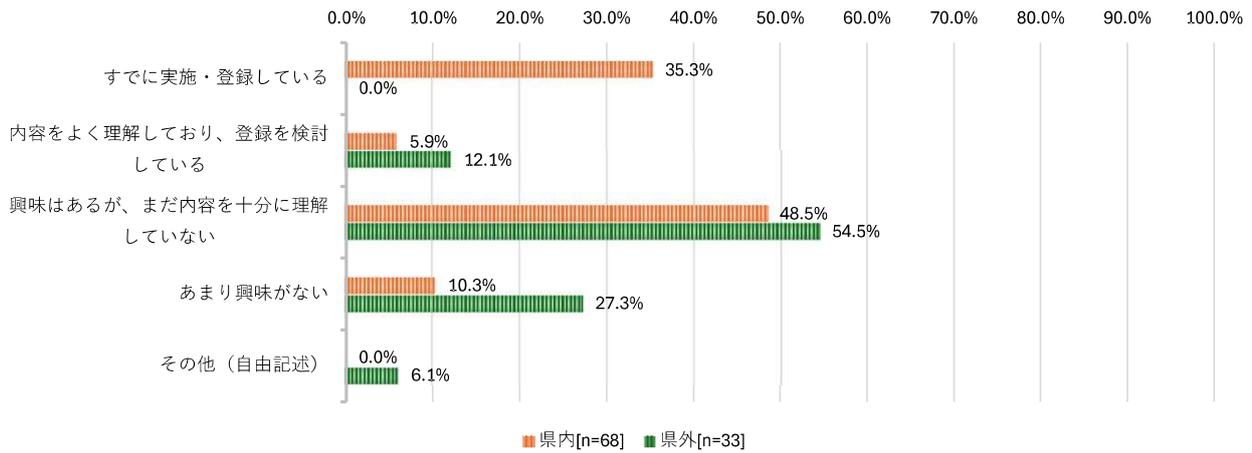
#### 5. いばらきダイバーシティスコアチャレンジについて

##### 5-1. いばらきダイバーシティスコアチャレンジについて知っていますか？



○県内企業は「知っている」が多く、県外企業は「知らない」が多くなっています。

## 5-2.スコアチャレンジへの関心について教えてください。

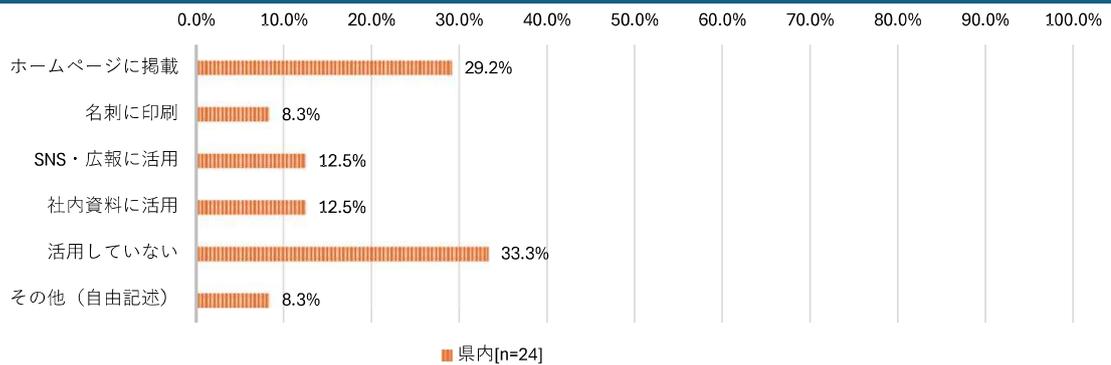


○「興味はあるが、まだ内容を十分に理解していない」が最も高い割合となっており、関心はあるものの、具体的に何ができるのか、どのように活用できるのかが理解できていない企業が多い傾向が伺えます。

○その他（自由記述）

・このアンケートで知った 等 2 件

## 5-3. 実施・登録済みの企業様のみご回答ください。デジタルバッジを活用していますか？（複数選択可）



○デジタルバッジの活用状況を見ると、活用している企業のうち「自社ホームページに掲載している」の割合が最も高く、次いで「SNS・広報に活用」及び「社内資料に活用」が高い結果となりました。一方で、約3割の企業が「活用していない」と回答しており、デジタルバッジの価値や使い方が十分に浸透していない一面もあることが伺えます。

○その他（自由記述）

・今後活用しようとしている

## 5-4. 5-3で「活用していない」を選択した企業様のみご回答ください。理由を教えてください。

○自由記述

- ・特段のメリットを感じないため
- ・対応が間に合っていない
- ・名刺は在庫があるため
- ・活用方法を検討中
- ・活用するタイミングがなかった

等 8 件

## 6. 自由意見

### 6-1. 設問以外に、ご意見や要望がございましたら教えてください。

#### ○自由記述

- ・ダイバーシティの認知度がより広がる取り組みを期待
- ・メールでの情報発信を引き続き希望
- ・交流会、企業見学会の開催を希望
- ・引き続き支援を希望

等 8 件

<参考>

1-1. いばらきダイバーシティ宣言をどこで知りましたか？（複数選択可）	回答数	（うち県内）	（うち県外）
ダイバーシティ推進センターホームページ	52	25	27
チラシ	14	12	2
県からの案内・働きかけ	48	46	2
県のセミナー・研修会等	8	8	0
上記以外のセミナー・研修会等	8	7	1
SNS（LINE・Facebook・X 等）	2	0	2
メールマガジン	3	2	1
その他（自由記述）	4	3	1
1-2. いばらきダイバーシティ宣言を行おうと思った理由を教えてください（複数選択可）			
人材の定着のため	37	27	10
人材の確保（採用強化）のため	41	36	5
人材の育成のため	31	25	6
理念の社内浸透（職場環境改善）のため	53	42	11
企業イメージ向上のため	54	34	20
CSR（社会的責任）の一環	42	25	17
行政との関係強化のため	26	25	1
その他（自由記述）	2	2	0
2-1. 宣言後、社内にどのような変化がありましたか？（複数選択可）			
離職率が下がった	4	2	2
採用応募者が増えた	5	4	1
多様な人材（女性・若年層・外国籍など）の採用や登用が進んだ	17	14	3
テレワーク、フレックスタイム、育児・介護休暇などの制度の整備が進んだ	15	10	5
上記制度の利用者が増加した	5	3	2
管理職や従業員の意識変化（多様性への理解・尊重）が進んだ	27	22	5
職場の雰囲気が改善した	17	15	2
特に大きな変化は感じない	52	33	19
その他（自由記述）	3	3	0
2-2. 上記のうち、具体的な変化や成果を教えてください。（任意）			
※自由記述	14	12	2
2-3. 宣言後、社外から反響などはありましたか？（複数選択可）			
採用や商談などで、企業イメージが向上したように感じる	16	7	9
メディア・自治体・業界団体などからの問い合わせ・紹介依頼が増えた	7	7	0
業績や取引関係に良い影響があった	5	4	1
特に変化は感じない	77	53	24
その他（自由記述）	1	1	0
2-4. 宣言後に感じている課題があれば教えてください（複数選択可）			
社内での浸透が不十分	25	16	9
人材の定着・確保・育成につなげしていない	14	10	4
継続的な取組体制が整っていない	11	7	4
取組の成果を測定できていない	51	35	16
ダイバーシティ推進センターホームページ等による広報効果が弱い	7	5	2
その他（自由記述）	11	10	1

3-1. 宣言後、県からどのような支援があればよいと思いますか？（複数選択可）	回答数	（うち県内）	（うち県外）
経営者・管理部門向けダイバーシティに関するセミナー・研修	29	22	7
従業員向けダイバーシティに関するセミナー・研修	27	19	8
宣言企業同士の交流会	15	11	4
宣言企業同士での企業見学会・視察会	13	12	1
ダイバーシティコンサルティング支援の充実	10	8	2
宣言企業の取組事例集の発行・紹介	43	29	14
その他（自由記述）	8	7	1
3-2. 3-1の選択肢を選んだ理由を教えてください。（自由記述）			
※自由記述	113	80	33
4-1. 宣言企業として紹介される場合、どのような広報を期待しますか？（複数選択可）			
ダイバーシティ推進センターホームページへの掲載	77	47	30
ダイバーシティ推進センター公式SNSでの紹介	41	32	9
ダイバーシティ推進センター広報紙「ぼらりす」への掲載	31	25	6
新聞・テレビなどのメディア掲載	28	22	6
イベントやセミナーでの登壇機会	10	10	0
先進企業の表彰	9	9	0
その他（自由記述）	6	6	0
5-1. いばらきダイバーシティスコアチャレンジについて知っていますか？			
知っている	53	46	7
知らない	48	22	26
5-2. スコアチャレンジへの関心について教えてください。			
すでに実施・登録している	24	24	0
内容をよく理解しており、登録を検討している	8	4	4
興味はあるが、まだ内容を十分に理解していない	51	33	18
あまり興味がない	16	7	9
その他（自由記述）	2	0	2
5-3. 実施・登録済みの企業様のみご回答ください。デジタルバッジを活用していますか？（複数選択可）			
ホームページに掲載	7	7	0
名刺に印刷	2	2	0
SNS・広報に活用	3	3	0
社内資料に活用	3	3	0
活用していない	8	8	0
その他（自由記述）	2	2	0
5-4. 5-3で「活用していない」を選択した企業様のみご回答ください。理由を教えてください。			
※自由記述	8	8	0
6-1. 設問以外に、ご意見や要望がございましたら教えてください。			
※自由記述	8	6	2